

濁水かわら版

第106号 2020年12月31日号
 ぼけ防止を兼ねて 中安 宏規

スペイン風邪から100年



コロナに負けるな 勝ちましょう 29,387日生きてきました

図A 1919-20年の年齢別 感染者・死者表

年 齢	患者		死者		年 齢 別 依 存 者 中	年 齢 別 依 存 者 中	年 齢 別 依 存 者 中	年 齢 別 依 存 者 中	年 齢 別 依 存 者 中	年 齢 別 依 存 者 中
	計	男	計	男						
5歳以下	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
6-10歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
11-20歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
21-30歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
31-40歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
41-50歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
51-60歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
61-70歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
71-80歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
81-90歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
91-100歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

第四表 大正八・九年流行時ニ於ケル性別及年齢別患者・死者表 (各府縣ニヨリ)

Epilog コロナで明け暮れた2020年の最後のかわら版で Epilog とした。103 号も敗戦・安倍退陣を受け Epilog でした。

① 図Aは、1918年から19年の日本のスペイン風邪での年齢・男女別の感染者100対の死亡者の割合です。左2列は患者・死者の男女比較。

11-20 歳	3.87
6-10 歳	3.88
41-50 歳	4.73
51-60 歳	5.00
31-40 歳	5.81
21-30 歳	6.74
61-70 歳	7.11
5 歳以下	7.22
71-80 歳	8.76
91-100 歳	60.0

男性を 100 とした女性の割合。5歳以下の感染者は女が 105.0 で 5 ポイント高く、死亡は女が 92.0 で男より 8 ポイント低い。

図Bは、図Aの赤枠の死亡割合を少ない順に並べ変えたものです。「人生60年」と言われた赤字の21歳から60歳までの働き盛りの感染者計 11 万 7010 人、死亡は 7794 人で感染者 100 対の死亡は 6.66 と高く、60代の7.11から70代の8.76へ高くなっている。そこで現在進行形のコロナ禍の年代別感染者を探すと、ありました。

② 12月28日、国立感染症研究所のHPに【新型コロナウイルスにおける年齢別症例致命割合】が掲載された。症例致命割合CFRとは、 $CFR = \frac{\text{死亡数}}{\text{感染者数}} \times 100$ 。図A・図Bを含め、かわら版で報じた「感染者100人対の死者数」の考え方と同じです。29日に一部報道されましたが、年代別の人数で比較されているため、掲載文章を比較できるように図Cの表にしました。次ページへ

図C 基礎疾患有無の感染 100 人対死亡割合

年齢区分	基礎疾患なし			基礎疾患あり		
	死亡	感染者	割合	死亡	感染者	割合
60歳未満	3人	5879人	0.1%	20人	1988人	1.0%
60-64歳	5	304	1.6	21	472	4.4
65-69歳	5	304	1.6	40	554	7.2
70-74歳	8	215	3.7	49	657	7.5
75-79歳	9	171	5.3	71	553	12.8
80歳以上	18	141	12.8	280	1364	20.5

基礎疾患は大枠で18 計21もある

③ 27日には立憲民主党羽田雄一郎参院幹事長が、秘書の車で午後3時45分予約のCPR検査を受けに行く途中「おれ肺炎かな」と言って意識を失った。異常に気付いた秘書が救急車を呼び、東大病院に搬送したが、午後4時34分死亡が確認された。羽田氏は53歳。**糖尿病・高脂血症・高血圧**などの基礎疾患があったと報道された。前頁図Cでは、羽田氏は100人中1人の犠牲者と言えます。基礎疾患が無ければ1000人中1人で大きな差があります。私は80歳で1型糖尿病。感染すれば5人に1人の「ババ抜き」、あるいは麻雀で1人負けになる日常の確率に近いのです。人数の報道では多数中の1人で、危機感は薄いと思います。

④ 図Dは、②の発表文章に掲載されていた新型コロナ対象の登録基礎疾患の一覧表です。番号は筆者が整理するため記載した。なんと21疾患。カッコ内の小分類が5疾患もある。東京都の死者のうち96%に基礎疾患があったという報道がありました。日本のサラリーマンは「飲みニュケーション」「痛勤地獄」の中で、女性はヨダレが止まらないケーキ類の中で運動不足の生活をしている…。それは一部の人とも言えますが、かつて糖尿病の多い職

業は、深夜まで働く中央官庁職員とタクシー運転手という調査に納得した事がある。

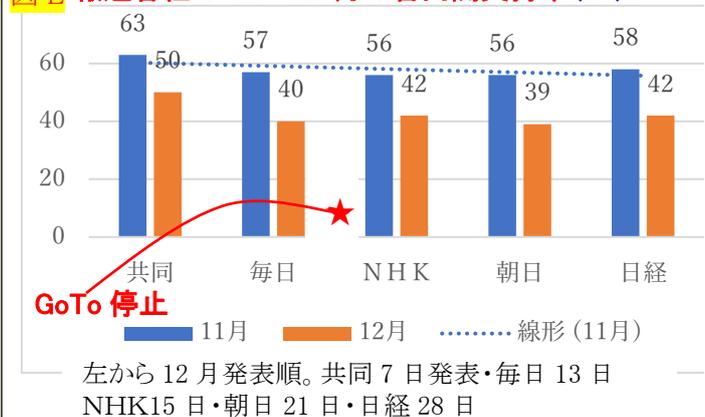
叩き上げ首相を叩き大工が笑う

⑤ 図Eは11・12月の報道各社の菅内閣支持率調査。紙面とHPからのデータです。左の共同通信から日経まで1か月分をカバーしています。読売は11月のデータに疑問点があり省きました。フジ・産経は6月に委託した調査会社が架空の数字を混ぜたことが判明し、過去のデータを廃棄し調査を中止しているようです。点線は11月の近似曲線で、同月

初旬からジワジワ低下が始まっていたように感じます。7日の共同は11年調査から13ポイント減→13日毎日調査は、同17ポイント減の40%に急落。かつコロナ対策「評価14%」だった。政府は慌てたように翌14日「GoToトラベルの停止」を決めた。それは12月28日から21年1月11日までの2週間限定。政府自ら決めた専門家グループの政府分科会の見直し意見を一度ならず無視し続けて来たツケである。さらに同夜、首相の動向を知らせる各紙の「首相日々」欄に【8時50分東京・銀座ステーキ店「銀座ひらやま」。自民党の二階俊博幹事長、林幹雄幹事長代理、プロ野球ソフトバンクの王貞治球団会長、俳優の杉良太郎

図D	新型コロナで登録されている基礎疾患
1 2	心疾患(心筋梗塞・うっ血性心不全)
3	抹消血管疾患
4	脳血管障害
5	片麻痺
6	認知症
7 8 9	呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患・慢性肺疾患・気管支喘息)
10	肝機能障害
11	腎機能障害
12	高血圧症
13	高脂血症
14	糖尿病
15	肥満
16	消化性潰瘍
17	固形がん
18	リンパ腫
19	白血病
20	膠原病
21	HIV=エイズ

図E 報道各社の11・12月の菅内閣支持率(%)



氏、評論家の森田実氏らと食事。9時44分東京の衆議院宿舎】と書かれていた。首相を入れて6人。実際は8人が参加したという。国民に5人を要請し、自ら破ったことに批判が起きた。一部報道では、首相を除く7人は時折会っており、1か月前に自民党関係者から誘いがあった。首相は2時間遅れて参加、食事をして帰ったという。それが事実なら断れなかったのか。街では5人以上の食事を断る店が多いという。反省・謝罪しても、多くの国民が不信感を抱いたと考える。安倍前首相の桜を見る会の会費問題は、次頁へ

眼を覚ましたか

諾

ダマサレルナヨ

諾諾

安倍首相(当時)の国会答弁と違い、自らの事務所が支払っていた事が判明した。反省・謝罪しても「はいはい」と、許せない時代になったように思われる。安倍流の3本の矢は増え、ブーメランのような矢となって安倍氏に戻って来たかのようだ。ウソや詐欺がまかり通る時代の到来。今から 800 年程前の中国の禅書「無門関」の一節を読みなおした。

中国瑞巖の彦和尚は、自分を主人公と呼び毎朝、主人公に問いかけ、はい(諾)と答えた。

「主人公」「諾」

「はっきり眼を覚ましたか」「諾」

「どんな時でも人に騙されるなよ」「諾諾」

著者の無門慧開(1183-1260年)は、これを真似したら「エセ禅者だ」と批判した。彼は仏道を学ぶものが真実を知らないのは、前からの分別意識を真実と誤認しているからだ。過去の世から迷いの基になっている自我を、真実の自己と思い込んでいる、と。

私はと言えば、エセ人間の段階です。最近目覚めるとグダグダしながら、騙されるな「諾諾」。ウソを言うな「諾諾」。それから朝の散歩に出かける。無門関 48 則の成立は 1228 年。親鸞が浄土真宗を開き、道元が曹洞宗を伝えた頃である。

戦場にならなかったインドネシア 補足

「かわらばん 103 号」の冒頭、菅首相の初外交でベトナムとインドネシアを訪問した事に触れ、「インドネシアは戦場にならず、敗戦翌日の 8 月 16 日、日本軍幹部と話し合い 17 日に独立宣言した」と書きました。戦場にならなかったインドネシアの状況をスペースの関係でカットした部分を補足します。

① インドネシアが戦場にならなかったのは、米軍指揮官マッカーサー元帥が、フィリピン→沖縄→日本の本土攻撃を急いだためです。

② 私の手元にある軽井沢の万平ホテルの資料では、開戦半年後の 1942 年 6 月 14 日、専務佐藤太郎ら第 1 陣 11 名がジャワ島の接收ホテル経営のため広島を出港。輸送船の見張りに立つなどして 7 月 5 日、ジャワに上陸、ジャカルタへ向かった。約 20 ホテルが接收されていた。軍の直営方式で東部を丸の内会館・中部を万平ホテル・西部を都ホテルが担当した。万平ホテルは 5 ホテル以外に賃貸ホテルの経営もおこなった。

③ 戦場にならず、敗戦の日まで比較的平和な日々を送った。従業員の多くが敗戦を知ったのは 8 月 15 日。呆然と天を仰いでいた 17 日、インドネシアが独立宣言をし、ホテルはインドネシアに無償譲渡された。ところが進駐してきた英・印軍がホテルを接收。板挟みの中で万平ホテル従業員は業務を続けた。佐藤ら 3 名は刑務所に軟禁された。これを知った英軍の調理係をしていた鈴木が英軍に懇願し、英軍の手で 3 名は釈放された。敗戦時 16 人中 12 人が帰国。暴動に巻き込まれ戦死 3 人。病死 1 人が帰らぬ人になった。

近況報告

今年は飛ぶように時間が過ぎ去りました。7 月に傘壽(80 歳)となり、無事大晦日を迎えました。今日で私の心臓は 29,387 日 = 70 万 5288 時間も働いてくれました。まさにポンコツです。リタイアした還暦頃の身長は 170cm、体重 70kg でしたが現在は 164cm、54kg。血圧は 120~70 前後です。身長は歳と共に縮むと聞いていますが、体重・血圧は昨年夏に 1 型糖尿病という診断を受け、1 年余、食事制限を行った結果です。HbA1c は宣告を受けた昨年 8 月には 12.7 でしたが、食事制限を行い今年 2 月には 6.4 まで下がり、最近では 6.8 前後。医師は問題ない範囲と見ているようです。自分で買い物をし、食事を作りますが肉は牛豚とも赤身、鳥も 70g。魚は 100g 以内。ご飯は昼食時 100g 以内でたまに食べ、夕食では一切食べない。朝はパン食。代わりに主食は野菜。キャベツをベースに玉ねぎ・ニンジン・カボチ・リンゴを適度に混ぜ約 200g を電子レンジで 5 分。調理はほとんど電子レンジで行います。魚のサケ類は電子レンジで 40~60 秒。皮をとり、小さいフライパンに水少々と塩麴をいれ沸騰したら魚を入れ 1 分。余熱も利用し魚のステーキが出来上がり。コロナに勝つには「ビタミン D」。JPALD 一般社団法人・日本生活習慣病予防協会が「血中のビタミン D が低いとインフルエンザ・コロナの罹患率高い」という欧米の研究報告を掲載しています。同様に果物に多いビタミン C も推奨しています。サプリメントはともかく D の多い食品は？ 月末は生きている確認を兼ねビールで乾杯。まもなく 29,388 日の乾杯